

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	花いっぱい運動の推進事業	H24 ～ R3	観光地としての魅力的な景観形成を図るため、国道及び県道沿い等に花木の植付を行い、町ぐるみで花いっぱいの環境づくりを行う。	・プランターへの植付＝1191基 ・町花壇、観光アクセス道路沿い植栽マスの植付	・観光客へのアンケート 観光地の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じる人の割合(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に花木の植付を行い、地域ぐるみの花いっぱい運動を推進する。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。
1	②	ハブ咬傷防止事業	H25 ～ R3	地域住民の生活圏や観光施設周辺などにおいて、ハブが多く出没していることから、捕獲機設置による駆除を実施することで、地域住民や観光客の咬傷被害防止を図る。	ハブ捕獲器を町内約450カ所に設置	ハブによる咬傷被害件数0件	【今後のスケジュール】 今後も継続的に捕獲器設置による駆除を行い、咬傷被害防止を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 咬傷被害件数0件を目指し、設定した。
1	③	伝統興行観光化事業	H25 ～ R3	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」、「古典・民謡」等を新たな観光資源として活用し、ナイター闘牛や闘山羊大会、伝統芸能等の夜間イベントを定期開催することで、観光客の誘致を図る。	伝統興行の実施 2回 もとぶ元気夕市の実施 48回	闘牛・闘山羊大会来場者数:880人 もとぶ元気夕市来場者数:7,680人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にイベントを定期開催し必要な整備を行うことで、観光客の誘致を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。地域再生計画に基づき設定した。
1	④	本部町観光振興基本計画策定事業	H30 ～ R1	本町の観光振興を推進するため、これまでの施策の検証を行うとともに、町の観光振興の指針となる観光振興基本計画を策定する。	観光振興基本計画の策定	観光振興基本計画策定	【R2成果目標】 策定する観光振興計画の中で、主要観光地の入込客数等、観光振興に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興施策を実施する。  【今後のスケジュール】 R2～ 計画に基づく各事業の実施	【R2成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標に向けた観光振興施策を実施していくことを目的として設定した。
1	⑤	八重岳山頂パーク(仮称)整備事業	H31 ～ R3	日本一早い桜祭りとして有名な八重岳には多くの観光客が訪れており、今後も本町の主要な観光拠点として活用するため、山頂付近に自然やロケーション活用した環境整備を行い観光客等が訪れる景勝地づくりを推進し、さらなる観光客の誘致を図る。	基本構想の策定	基本構想の策定完了	【R4成果目標】 基本構想の中で年間利用者数を設定する。  【今後のスケジュール】 R2 実施設計 R3 整備工事	【R4成果目標の考え方】 基本構想で設定した年間利用者数を成果目標とする。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

## 令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
				2	①	園芸農業防災施設整備事業		
2	②	もとぶブランド牛基盤づくり支援事業	H25 ～ R4	肉用牛生産農家及び農業生産法人のもとぶブランド化の基盤創出のため、優良母牛の導入の支援を行う。	優良母牛導入の支援	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合107%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に優良母牛の導入支援を行い、農家の経営の安定化に向けて、ブランド化を推進する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	③	メイドイン・もとぶ産品成長産業化推進事業	H28 ～ R3	本部町の地域の特性を活かしたもとぶ産品のPRや販売支援員の配置、物産展等への出展等を支援し、もとぶ産品の新規取引先の拡大を図る。	・商工会への支援の実施 (メイドインもとぶ産品のリスト化) (メイドインもとぶ産品のPR及び販売の支援) (県内外物産展等への出展支援)	新規取引契約数 10件以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に特産品PR及び販売支援を行うことで、もとぶ産品の新規取引先の拡大を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去実績を勘案し設定した。
2	④	もとぶ産業クラスター形成事業	H29 ～ R1	町内特産品製造事業者の特産品開発に係る助言や製造機械の導入の支援を行い、開発製造環境の向上を図る。	・もとぶ産品製造事業所の支援 (ブランディング) (製造環境の向上) (事業所連携による新たな特産品の開発)	【平成30年度開発特産品】 ①アセローラ酢販売額:228千円 ②アセローラプレザーブ販売額:160千円 ③生姜入りシークワーサードリンク販売額:252千円	【今後のスケジュール】 今後も継続的に特産品開発に係る助言や製造機械の導入の支援を行い、売上の向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 販売計画を基に設定した。
2	⑤	農水産業担い手支援住宅整備事業	H31 ～ R3	農業及び漁業の新たな担い手を確保するため、農水産業担い手支援住宅を建築する。	産業支援住宅の基本計画の策定	産業支援住宅の基本計画策定完了	【R4成果目標】 基本計画の中で、整備戸数を設定し、全戸数の担い手の入居を目指す。  【今後のスケジュール】 R1 基本設計 R2 実施設計・測量業務 用地購入 R3 建築工事 R4 供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 基本計画で設定した戸数を設定する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		R1成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
2	⑥	もとぶピージャー産地確立推進事業	H25 ～ R1	本町では少数飼育農家が多数であり、定期的に一定量の出荷が難しいことや粗飼料自給率が低いことから、経営を逼迫している状況である。そのため各地区に共同山羊舎の整備及び機械導入を行うことで、畜産農家の経営安定化を図る。	農業用機械の導入 (粗飼料管理機一式)	農業用機械(粗飼料管理機一式)の導入完了	【R2成果目標】 粗飼料自給率66%以上  【今後のスケジュール】 一貫した粗飼料の生産体系を確立し、経営の安定化を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 沖縄県が作成した山羊経営技術指標を基に設定した。	
3	①	本部型就業意識向上支援事業	H29 ～ R1	町内小中高校生の勤労観や職業観の育成を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験、インターンシップ等を行い、町内産業への理解や興味を深めてもらう。	ジョブシャドウイング、職場体験、インターンシップの実施(9校) 教職員向けマナー研修の実施(2回) 企業プレゼン大会の実施(1回) 町内企業体験学習会(わくわくワーク)の実施(3回)	小中高生へのアンケートを実施し、働くことへの興味・関心が湧いた(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に産学官の連携したキャリア教育を行い、働くことを考えてもらうきっかけづくりを行うことで、勤労観や職業観の育成を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が町内産業への理解や興味が深まったといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。	
4	①	本部町学力向上学習支援事業	H26 ～ R3	町内小・中学校に学習支援員を配置し、国語、算数・数学、英語及びその他の主要教科において児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより、学力の向上を図る。また教員の業務支援を図り、教員が一層児童生徒への指導や教材研究等に注力できるように、教員の事務作業の補助も行う。	・町立小学校 5校へ配置 ・町立中学校 3校へ配置	令和元年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 →6.9ポイント以上 中学校 →2.5ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に学習支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	②	本部っ子短期留学チャレンジ事業	H27 ～ R3	海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、夏休みを利用し町内中高生を英語圏へ短期間派遣する。	町内の中高生を英語圏へ短期間派遣(3週間)	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に町内中高生を英語圏へ派遣し、海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野が広まったといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。	
4	③	特別支援教育環境充実事業	H28 ～ R3	特別な支援を要する幼児児童生徒(心身の障害及び発達障害)に対し、特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカーを派遣することで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員 8名配置 スクールソーシャルワーカー 2名配置	園児児童生徒の保護者へのアンケートで、支援員等を配置することにより、特別支援員への満足度(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカーを配置することで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の保護者が児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善が図られたといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。	

R1活動目標(指標): 令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標): 令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

## 令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5	①	赤土流出防止検討調査事業	H24 ～ R1	本町をはじめ沖縄県内で以前から問題とされてきている海洋への赤土流出について、その発生源に対する対策を実施し、赤土流出を軽減することで環境保全を図る。	流出対策事業(工事)実施	長田川砂防ダム堆積土浚渫量 V=3,300m <sup>3</sup>	【今後のスケジュール】 調査検討業務の成果を活用し、今後も継続的に赤土流出対策を実施することで環境保全を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 設計測量時の堆積土浚渫量を参考に設定した。
6	①	防災施設機能強化整備事業	H29 ～ R1	地震津波発生時に住民や観光客を迅速に避難させるため、緊急避難路を整備し、防災力の向上を図る。	・緊急避難路の整備	・緊急避難路整備の完了	【R2成果目標】 本避難路を活用した避難訓練の実施(2回/年)し、安全・安心に避難できたか(80%以上)を含め、訓練参加者に対するアンケートにより、本事業のあり方を検証する。  【今後のスケジュール】 R2 供用開始	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績等を勘案して設定した。対象者のうち大多数の訓練参加者が、安全・安心に避難できたといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。